病　院　だ よ り　　2021年7月号　第404号

昭和大学病院　検索

昭和大学病院附属東病院　検索

発　行　昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者　昭和大学病院長　相良 博典
編集責任者　広 報 委 員 長　中村 清吾
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
ＴＥＬ：03-3784-8000（代表）

診療科長就任のご挨拶　救急診療科 准教授 垂水（たるみ） 庸子（ようこ）

～ 好きな言葉 ～

「人生に何一つ
無駄なことはない」

挫折・失敗して落ち込んだ時、この言葉を思い出し、反省を次に活かせるようにしています。

～ Profile ～

	東京都清瀬市出身
2001 年	昭和大学医学部卒業
同年	東京医療センター 内科研修医
2003 年	東京医療センター 消化器科レジデント
2005 年	昭和大学病院 救急内科
2008 年	昭和大学病院 総合内科(ER)
2017 年	昭和大学病院 総合診療科
同年	昭和大学江東豊洲病院 総合診療科
2019 年	昭和大学病院 救急診療科

～ 就 任 の ご 挨 拶 ～

2021 年 4 月より救急診療科長を拝命しました垂水 庸子と申します。長と言っても当科は専属医師 2 名の小さな診療科で、私は救急で勤務する医師のまとめ役にすぎません。

私は医学生時代に父が他院の救急外来を受診後に他界した経験から、救急外来診療をより安全なものにしたいとの思いで救急の道に進みました。大学卒業、初期・後期研修後に、当院の救急・総合診療部門で主に研修医の教育に携わり、現在に至ります。

2019 年の当科発足後は、旧総合診療科の診療内容の一部を引き継ぎ、土肥救急医療センター長のもとで救命救急科との連携を強め、安全体制の強化を進めています。経験が浅く至らぬ点も多々あるかと存じますが、どうぞよろしくお願い致します。

～ 診療科長としての意気込みや、今後の展望 ～

昭和大学病院は、救急受診希望の患者さんを原則としてすべて受け入れる方針としています。当科では、主に 2 次救急搬送された方、病院の診療時間外に来院された方の診療を担当しており、年間約 1 万件の受診があります。

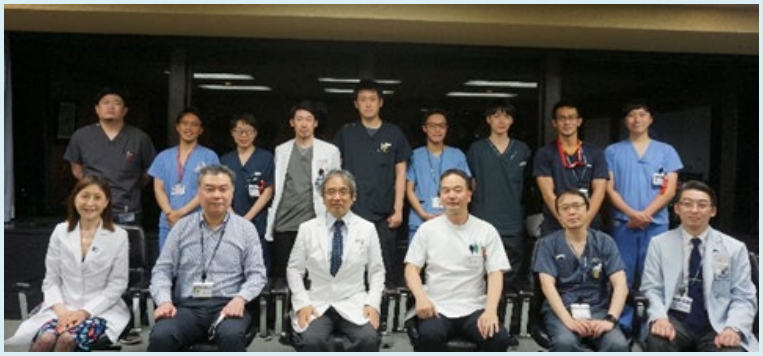
一方、当院救急外来はその狭さからプライバシーの確保が十分でなく、待機時間、診察室内外の移動などでも、患者さんやお付き添いの方々にはご迷惑をおかけしております。ハード面の解決は困難ですが、医師の診療レベル向上や、各コメディカルとの連携により効率化を進め、少しでも安全・快適に受診していただけるよう工夫を重ねていく所存です。また、入院の必要性は、医学的観点だけでなく療養環境も考慮して判断し、帰宅の際には再受診の基準となる徴候を文書でわかりやすくお伝えするように致します。加えて、カルテの確認と追跡により帰宅判断の妥当性を検証する取り組みを進めてまいります。救急の安全対策にご理解のほどお願い致します。

前立腺がんの低侵襲治療

といえば昭和大学病院

～ロボット支援手術から小線源治療まで最新の技術を用いて、患者さんの要望に応える最適な低侵襲治療を提供しています～

●診療科長　教授
深貝　隆志
2021 年4月就任

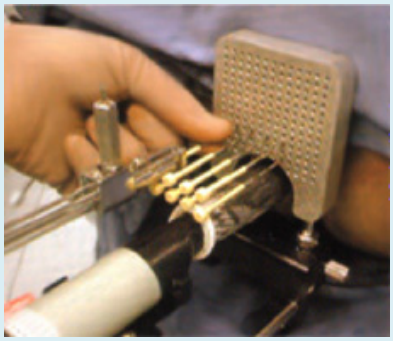


●泌尿器科

泌尿器科　予約について

◆初診外来：月曜日～土曜日
8:00～14:00
❖医療連携室：
TEL03-3784-8400
FAX03-3784-8822

●手術支援ロボット
Da Vinci Xi



●小線源治療
放射線治療：内照射

●トモセラピー
放射線治療：強度変調放射線治療に特化した放射線治療装置

特徴1

最新のロボット Da Vinci Xi を用いた精度の高い手術治療を提供

2013 年から導入している手術支援ロボット：ダビンチが 2021 年 3 月から最新機種のダビンチ Xi にバージョンアップし、より精度の高い手術が可能となりました。この最新の技術を用いて、患者さんの生活の質を可能な限り維持した低侵襲手術を実施しています。

特徴2

小線源治療、トモセラピーなど高精度の各種放射線治療の対応が可能

放射線治療が希望の患者さんには放射線治療科と連携をとりながら、短期間の入院で実施可能な小線源治療から外来で治療可能なトモセラピーなど患者さんの要望に応えた各種の放射線治療を提供しています。

羽ばたけ期待の医療人　No.30「１年目　臨床研修医」

今月は「　１年目 臨床研修医　」の斉藤 拓哉（さいとう たくや）さんをご紹介いたします。

医師を志した理由・昭和大学病院を志した理由を教えてください。

１年目　臨床研修医
【斉藤（さいとう）　拓哉（たくや）さん】

私は、アトピー性皮膚炎の既往があり、なかなか良くならず苦しんでいました。そのため、家から車で 40 分程にあるアレルギーを専門としている先生の元へ通うことになりました。その先生のおかげでアトピーは改善し、日常生活で自分の皮膚を気にするストレスが減り、医師という仕事が病気のみでなく人の人生を豊かにする事が出来ると身をもって知り、医師を目指し始めました。

現在、どのような業務をしていますか。

先月（2021 年５月）までは、消化器内科を回りました。
朝に採血をしたのち、班で回診をします。カルテを書いた後、
上・下部内視鏡検査、腹部超音波検査、ERCP※等を見学しました。
日々の病棟業務に加えて、腹水穿刺など様々な手技を経験する事ができました。
日直や当直もあり、問診や身体診察などバランスよく勉強しました。

現在は産婦人科を回っていますが、仕事内容はガラリと変化し、手術の助手をし、時間があるときは縫合や糸切りといった外科の基本手技を練習しています。病棟では、術後の患者さんの状態を把握する事に努めています。

※ERCP（内視鏡的逆行性胆道膵管造影）：内視鏡を使って胆道・膵管に造影剤を注入し、これらの管の状態をレントゲンで見る検査

今後、どのような医師を目指しますか。

自分が身につけた、臨床能力や技術を後輩に伝えていきたいと考えており、大学の教育職員になりたいと思います。そのためには、日々自己研鑽する事に加え、真心を込めて医療を実践する人間力も不可欠と考えています。この 2 年間の研修では、基本的な診察能力・手技を身につけ、一人ひとりの患者さんと真摯に向き合う姿勢を大切にしていきたいと思います。

お知らせ　医師の配属・異動・退職について

新規配属

2021 年７月１日付　●腎移植センター　清水俊洋
【附属施設から】2021 年７月１日付
●産婦人科　三澤亜純（藤が丘病院から）
●乳腺外科　金子卓嗣（江東豊洲病院から）
●救命救急科　尾仲紘輔（江東豊洲病院から）
●消化器・一般外科　足立光希（江東豊洲病院から）
●脳神経内科　小室浩康（江東豊洲病院から）
●小児科　山下恒聖（藤が丘病院から）
●小児外科　木村熙伸（江東豊洲病院から）
●救命救急科　加納美春（藤が丘病院から）
●消化器・一般外科　生沼慎一郎（江東豊洲病院）
●臨床病理診断科　本間まゆみ（横浜市北部病院から）
2021 年７月 15 日付
●産婦人科　中林誠（藤が丘病院から）
●産婦人科　河本貴之（横浜市北部病院から）
【学外研修から】2021 年７月１日付
●脳神経外科　広瀬瑛介

異動

【附属施設へ】2021 年７月１日付
●消化器内科　飯髙正典　（藤が丘病院へ）
●脳神経外科　吉澤卓也（横浜市北部病院へ）
●耳鼻咽喉科　日比裕之（藤が丘病院へ）
●乳腺外科　島田雅之（江東豊洲病院へ）
●救命救急科　福岡聖也（横浜市北部病院へ）
●頭頸部腫瘍センター　松浦聖平（江東豊洲病院へ）
2021 年７月 15 日付　●産婦人科　中山健（藤が丘病院へ）　●産婦人科　水谷あかね（藤が丘病院へ）
【学外研修へ】2021 年７月１日付
●脳神経外科　中村友宣　●脳神経外科　川内雄太　●乳腺外科　村上祐季　●救命救急科　松井利晃
●眼科　砂川珠輝
2021 年７月５日付　●産婦人科　大場智洋
2021 年７月 15 日付　●産婦人科　廣瀬佑輔

退職

2021 年６月６日付　●産婦人科　今田陽
2021 年６月 30 日付 ●腎臓内科　池田美紗
2021 年７月１日付　●小児心臓血管外科　石神修大

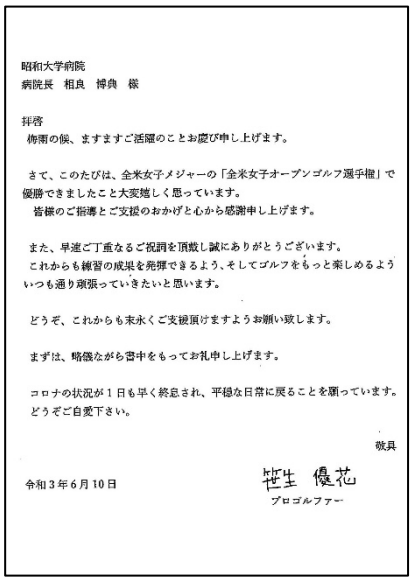
御礼　プロゴルファーの笹生優花選手よりお手紙をいただきました

この度、プロゴルファーの笹生優花選手が全米女子オープンゴルフ選手権で優勝された事に対し、相良病院長より祝電をお送りし、笹生選手より返礼のお手紙が参りました。

手紙には、返礼の言葉と共に、新型コロナウイルス感染症の終息を願う旨が記されており、職員一同大変な励みとなりました。この場をお借りし、笹生選手の偉業に職員一同心よりお祝い申し上げます。

今後も引き続き安全・安心な医療を提供できるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

笹生選手からのお手紙や電報は正面玄関でもご覧いただけます



昭和大学病院
病院長　相良　博典　様

拝啓
梅雨の候、ますますご活躍のことお慶び申し上げます。

さて、このたびは、全米女子メジャーの「全米女子オープンゴルフ選手権」で優勝できましたこと大変嬉しく思っています。
皆様のご指導とご支援のおかげと心から感謝申し上げます。

また、早速ご丁重なるご祝詞を頂戴し誠にありがとうございます。
これからも練習の成果を発揮できるよう、そしてゴルフをもっと楽しめるよういつも通り頑張っていきたいと思います。

どうぞ、これからも末永くご支援頂けますようお願い致します。

まずは、略儀ながら書中をもってお礼申し上げます。

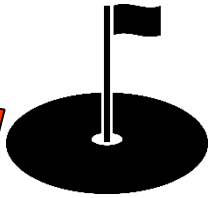
コロナの状況が１日も早く終息され、平穏な日常に戻ることを願っています。
どうぞご自愛下さい。

敬具

令和３年６月１０日　笹生　優花
プロゴルファー

笹生選手からのお手紙

優　勝
おめでとうございます！！



笹生選手からは、昨年９月に「コロナ禍において、必死に医療に尽力されている医療従事者の方々に何かしらのご支援をすることによって、少しでも地域の病院や地元の皆様の役に立ちたい」との強い想いから、笹生選手のお父様のメインバンクであり、かつ学校法人昭和大学と産学金連携プログラム協定を締結している城南信用金庫様を通じて、笹生選手が現在品川区在住であることや、双子の弟様が昭和大学病院にて産まれたというご縁もあり、ご寄付いただきました。

集合写真
（前列左から：下谷康博　城南信用金庫副理事長、笹生優花　選手、相良博典　昭和大学病院長、小出良平　総括病院担当理事）
（後列左から：早瀬川佐光　城南信用金庫荏原支店長、三邉武幸　病院担当理事、笹生正和　様（笹生選手のお父様）、稲垣克記　昭和大学病院附属東病院長、吉田仁　昭和大学病院副院長）

記者からの質問に答える笹生優花選手（中央）

お知らせ　ガーデニングサークルによるあじさい配布が行われました

６月 22 日（火）昭和大学病院中央棟正面玄関にて、学校法人昭和大学小口勝司理事長をはじめとしたガーデニングサークルと看護部の皆さんから、患者さんに向けてあじさいをお配りいたしました。

あじさいは、隣接する昭和大学旗の台キャンパス内に咲いていたものを花束にしたものです。あじさいを目にした患者さんには、明るい笑顔が見られました。

当日は昭和大学講師の
ハンドケアセラピストよる
ハンドセラピー体験も
併せて行いました

御礼　昭友商事株式会社からお菓子のご寄付をいただきました

学校法人昭和大学関連会社の昭友商事株式会社より、日々新型コロナウイルス感染症の対応をする病院職員へ向けて、お菓子をご提供いただきました。

この場をお借りして、職員一同厚く御礼申し上げます。

今後も引き続き安全・安心な医療を提供できるよう努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

トピックス

サンクス！グッドプラクティスパートナー（第 15 回）

当取り組みは、昭和大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、チーム力を高めることで患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

整形外科医師から放射線技術部へのありがとう！

放射線技術部の皆さん

放射線技術部の皆さんへ
整形外科は特に緊急で画像診断が必要となるケースが多いですが、いつも快く引き受けていただいており、大変感謝しております。

【患者さんに与えた良い影響】
迅速な画像評価により、適切な治療を提供できています。ありがとうございます。

放射線技術部の皆さんへ
整形外科の股関節術では、手術の際に術前・術中レントゲンを撮影していただいております。いつも迅速に対応していただきありがとうございます。

【患者さんに与えた良い影響】
術中の円滑な進行や術後成績の向上のためには欠かせない存在であり、患者さんの治療に貢献いただいております。

放射線技術部の皆さん

医事外来課から薬剤師へのありがとう！

薬剤部　嶋村さん

薬剤部　嶋村さんへ
ゴールデンウィーク期間に4階で使用する点滴薬剤の配置に対して急な要請にも関わらず迅速にご対応いただきました。

【患者さんに与えた良い影響】
ゴールデンウィーク中に当院を受診する患者さんが、円滑に診療を受けることができました。ありがとうございます。

薬剤部の皆さまへ
適正な保険診療（請求）のために分析や情報提供をしてくれております。コスト意識をもって協力してくれています。

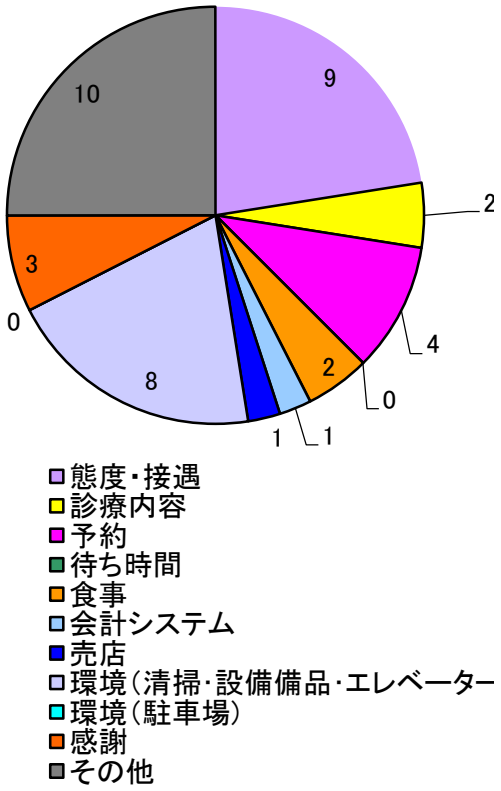
【患者さんに与えた良い影響】
薬剤師の方々のおかげで、患者さんが安心して当院を受診できることに繋がっております。いつもありがとうございます。

日頃よりチーム医療にご協力頂きありがとうございます。
今後とも、よろしくお願いいたします。

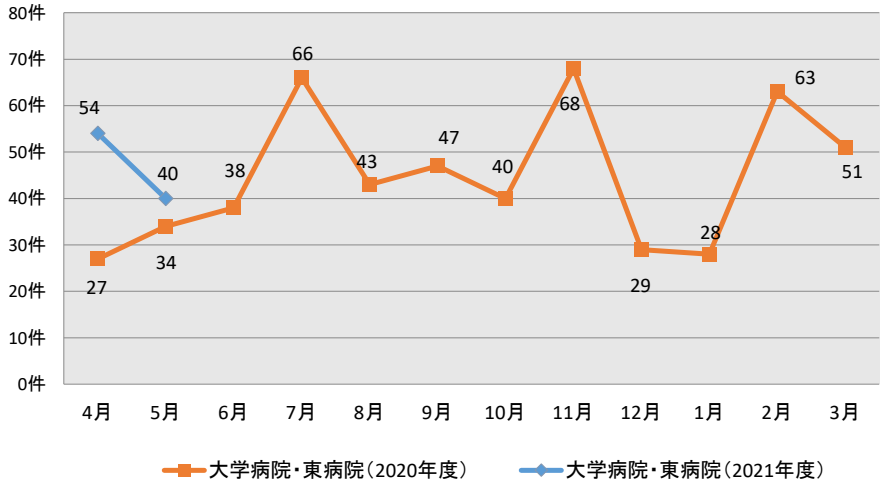
患者さんのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答	回答部署
看護師さんへお礼を申し上げます。患者の要求に応える看護を超え、術後の痛みや不安に寄り添って思いやりに満ちたものでした。 丁寧な言葉遣い、態度、温かい声に癒されました。	この度は感謝のご意見ありがとうございました。 術後に予想される痛みや不安に対して、看護師が介入することを当院では重要視しています。患者さんの苦痛を緩和できたこと大変嬉しく思います。スタッフ一同、看護のやりがいを感じることができました。 今後もより良い療養環境を提供できるよう努めて参ります。	看護部
循環器内科外来の待合の奥は、立ちながら診察を待たなければならない状態です。待合状況が分かるようにして下さい。	ご迷惑をおかけし申し訳ありません。一部の診察室を除き、大型の表示板に番号が表示されましたら診察室付近に移動して頂き、診察室前の小型表示板で診察室への入室をご案内する運用となっております。 番号が表示されないなど、ご不明点等ございましたら、受付窓口へお問い合わせください。 今後も分かり易いご案内が行えるよう、検討して参ります。	医療情報室

2021年7月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
40件



2020年度・2021年度ご意見・ご要望の推移



お知らせ　昭和大学リカレントカレッジ　秋期プログラム受講生募集

2021 年 7 月 1 日より、社会人を対象とした「昭和大学リカレントカレッジ」秋期プログラムの受講生を募集しております。秋期プログラムでは、身近な医学や健康なからだづくりを医療現場のスペシャリストから学べるプログラムや、専門知識の習得・スキルアップを目指すプログラム、日々の生活の中で活かせるプログラムなどを開講いたします。

◆呼吸器・アレルギー内科
本間　哲也先生
「住民のための保険診療入門編」

◆小児科
今井　孝成先生
「こどものアレルギー
～基礎から最新情報まで～」

◆糖尿病・代謝・内分泌内科
山岸　昌一先生
「老化を防ぐ賢い生活の知恵」

◆保健医療学部理学療法学科
田代　尚範先生
「ICU における
急性期リハビリテーション専門職の養成」

秋期プログラムは全 31 講座ご用意しております。
WEB 又は電話でお申し込みができますので、
ご興味がある方はぜひお申し込みください。
https://recurrent.showa-u.ac.jp/
TEL:03-3784-8143

編集後記　麻酔科　教授　大江（おおえ）　克憲（かつのり）

本号をお届けできる頃にはオリンピックの行方ははっきりとしていることかと思います。開催の是非はともかく、行われるのであれば、訪日するアスリートの皆さんを出来るだけ歓迎したいと思うのが人情でしょう。「その手があったのか」という従来にない発想で、コロナ禍ならではの「お・も・て・な・し」が見られることを密かに期待している今日この頃です。私自身は、機会があれば、「マスクの奥の笑顔」で許して頂く予定です。

昭和大学病院・附属東病院の理念

- 患者本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて
病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆様が読みやすいよう工夫をしております。
黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け
青色見出し：医療関係者向け
緑色見出し：医師の配属・異動・退職について

病院広報委員会委員：　稲垣 克記、入山 洸希、大江 克憲、岡崎 靖子、嶋村 弘史、鷲見 賢司、富田 英、中村 清吾、畑　麻紀、安田 光慶、山岸 昌一、山下　剛史、吉田 仁、渡辺 愛理、渡邊 聡（50 音順）